

# 臨床医学系

## 内 科 学 講 座

### 膠原病・リウマチ

#### 著 書

- 1 長澤浩平：成人発症スチル病。山口 徹，北原光夫，福井次矢 総編集。今日の治療指針 592-593，医学書院。東京 2007。
- 2 長澤浩平：全身性エリテマトーデス。泉 孝英 編集。ガイドライン外来診療2007 433-435，日経メディカル開発。東京 2007。
- 3 長澤浩平：全身性エリテマトーデス，全身性硬化症，多発筋炎／皮膚筋炎，混合性結合組織病。木本雅夫，他編集。免疫学コア講義（改訂2版）197-203，南山堂。東京 2007。

#### 原 著

- 1 Haruta Y, Koarada S, Tada Y, Mitamura M, Ohta A, Fukuoka M, Hayasi S, Nagasawa K: High expression of Toll-like receptor 4 on CD14+ monocytes in acute infectious diseases. Scand J Infect Dis 39: 577-583, 2007.
- 2 \*Horiuchi T, Kiyohara C, Tsukamoto H, Sawabe T, Furugo S, Yoshizawa S, Ueda A, Tada Y, Nakamura T, Kimoto Y, Mitoma H, Harashima S, Yoshizawa S, Shimoda T, Okamura S, Nagasawa K: A functional M196R polymorphism of tumor necrosis factor receptor type2 is associated with systemic lupus erythematosus: a case-control study and a meta-analysis. Ann Rheum Dis 66: 320-324, 2007.
- 3 井上久子，春田善男，末松梨絵，三田村未央，小荒田秀一，多田芳史，長澤浩平，大田明英：レフルノミド投与中に発症した悪性関節リウマチの一例。九州リウマチ 26(2)：130-134，2007。
- 4 三田村未央，福岡麻美，春田善男，小荒田秀一，多田芳史，長澤浩平：多彩な症状を呈しイヌ回虫幼虫移行症が疑われた一例。感染症学雑誌 81(3)：305-308，2007。
- 5 戸山真吾，春田善男，三田村未央，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：腹痛・腰痛を主訴とした高安静脈炎の一例。九州リウマチ 26(2)：125-129，2007。

#### 総 説

- 1 小荒田秀一，長澤浩平：【SLEの発症機序と新たな治療法の探索】SLEにおけるRP105陰性B細胞の意義。リウマチ科 38：113-120，2007。
- 2 長澤浩平：ここが知りたい他科知識。副腎皮質ステロイドと大腿骨頭壊死との因果関係は？。JOHNS 23(3): 361-362, 2007。
- 3 長澤浩平：ステロイド性大腿骨頭壊死症の病態と予防。九州リウマチ 27：1-3，2007。
- 4 長澤浩平，三田村未央：成人スティル病。リウマチ科 38：319-325，2007。

#### 学会発表

##### 国際学会

- 1 °Sherriff-Tadano R, Ohta A, Morito F, Mitamura M, Haruta Y, Koarada S, Tada Y, Nagasawa K: Anti-fibrotic effects of hepatocyte growth factor on scleroderma fibroblasts and analysis

of its mechanism. Professor Leroy EC Memorial International Workshop on Scleroderma. 2007, 5, 18-5, 20. Professor Leroy EC Memorial International Workshop on Scleroderma, Program & Abstracts 68.

#### 全国規模の学会

- 1 \*堀内孝彦, 清原千香子, 塚本 浩, 中村 正, 多田芳史, 木本泰孝, 三苦弘喜, 内野愛弓, 吉澤滋, 長澤浩平, 原田実根: 2型 TNF 受容体の機能的遺伝子多型 M196R と全身性エリテマトーデスの関連: 自験例を含めたメタアナリス. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム. 2007, 4, 26-29. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム抄録集 258.
- 2 小荒田秀一, 三田村未央, 末松梨絵, 井上久子, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平: SLE における CD4+ T 細胞の細胞分裂と Th1/Th2 サイトカインバランスの関係の検討. 第30回日本臨床免疫学会. 2007, 10, 19-20. 日本臨床免疫学会会誌 30(4):318.
- 3 小荒田秀一, 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平: SLE におけるステロイド投与が血管内皮機能に与える影響—ステロイド投与による可溶性内皮プロテインC受容体 (sEPCR) の変動に関する検討—. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム. 2007, 4, 26-29. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム抄録集 256.
- 4 三田村未央, 末松梨絵, 井上久子, 小荒田秀一, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平, 鐘江 大: 成人スチル病 (AOSD) 30例の治療についての検討: 特にシクロスポリン A (CyA) の有効性について. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム. 2007, 4, 26-29. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム抄録集 336.
- 5 長澤浩平: 大腿骨骨頭壊死の病態と治療, スタチン. 第80回日本整形外科学会学術総会シンポジウム. 2007, 5, 27. 日本整形外科学会雑誌 81(4):S521.
- 6 °大田明英, 松浦江美, 三田村未央, 井上久子, 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平: 強皮症患者におけるセルフマネジメント・プログラム介入効果 (第1報). 第10回強皮症研究会議. 2007, 1, 13.
- 7 多田芳史, 小荒田秀一, 三田村未央, 井上久子, 末松梨絵, 大田明英, 長澤浩平: RP105 分子のコラーゲン関節炎における作用の解析. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム. 2007, 4, 26-29. 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第16回国際リウマチシンポジウム抄録集 381.
- 8 多田芳史, 小荒田秀一, 大田明英, 長澤浩平: Toll-like レセプターホモログ RP105 はコラーゲン関節炎の発症を抑制する. 第37回日本免疫学会総会・学術集会. 2007, 11, 20-22. 第37回日本免疫学会総会・学術集会抄録集 133.

#### 地方規模の学会

- 1 °江口 仁, 福岡麻美, 永田正喜, 青木洋介, 長澤浩平, 永沢善三, 草場耕二: 下肢蜂窩織炎から急速にショック, 多臓器障害に進展した劇症型 A 群連鎖球菌感染症の 1 例. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2007, 11, 15-16. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・抄録集 75.
- 2 伊東千絵子, 多田芳史, 田中真理子, 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 小荒田秀一, 大田明英, 長澤浩平: 中枢性咽喉頭麻痺を合併し剖検にて腭癌が発見された皮膚筋炎の一例. 第34回九州リウ

- マチ学会. 2007, 9, 8-9. 第34回九州リウマチ学会抄録集 48.
- 3 片山寿希, 多田芳史, 黒木 淳, 上村哲司, 鐘江 大, 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 小荒田秀一, 大田明英, 長澤浩平: 血栓性動脈炎による手指・足肢の壊死を生じた全身性エリテマトーデスの1例. 第33回九州リウマチ学会. 2007, 3, 4-5. 第33回九州リウマチ学会抄録集 57.
  - 4 三田村未央, 多田芳史, 末松梨絵, 大田明英, 井上久子, 長澤浩平, 小荒田秀一, 鐘江 大: 成人スチル病患者におけるガリウムシンチグラフィー所見の検討. 第34回九州リウマチ学会. 2007, 9, 8-9. 第34回九州リウマチ学会抄録集 37.
  - 5 長澤浩平: 特別講演 I 「SLE Up-to-Date」. 第33回九州リウマチ学会. 2007, 3, 4-5. 第33回九州リウマチ学会抄録集 37.
  - 6 長澤浩平: 会長講演「感染と自己免疫の接点」. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2007, 11, 15-16. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・抄録集 37.
  - 7 °永田正喜, 福岡麻美, 青木洋介, 草場耕二, 永沢善三, 長澤浩平: MRSA 肺炎の診断における5チエックリスト(抗MRSA薬使用の手引き)の有用性についての検討. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2007, 11, 15-16. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・抄録集 58.
  - 8 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 小荒田秀一, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平: Klinefelter 症候群にSLEを合併した一例. 第34回九州リウマチ学会. 2007, 9, 8-9. 第34回九州リウマチ学会抄録集 41.
  - 9 末松梨絵, 三田村未央, 井上久子, 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平: 左化膿性仙腸関節炎を起した関節リウマチの一例. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2007, 11, 15-16. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・抄録集 78.
  - 10 末松梨絵, 三田村未央, 多田芳史, 小林弘美, 井上久子, 小荒田秀一, 大田明英, 長澤浩平: 多発性筋炎に悪性腫瘍を合併した2例. 第33回九州リウマチ学会. 2007, 3, 4-5. 第33回九州リウマチ学会抄録集 62.
  - 11 多田芳史: シンポジウム「Compromised hostにおける感染症」. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2007, 11, 15-16. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・抄録集 40.
  - 12 °山地康太郎, 福岡麻美, 永田正喜, 青木洋介, 長澤浩平, 永沢善三, 草場耕二: 佐賀大学医学部附属病院におけるリステリア症6例の検討. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2007, 11, 15-16. 第77回日本感染症学会西日本地方会学術集会プログラム・抄録集 72.

その他の学会等

- 1 井上久子: レフルノミド投与中に発生した悪性関節リウマチの一例. 第3回佐賀リウマチ研究会. 2007, 2, 16.
- 2 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平: 自己免疫におけるToll like receptor 関連分子RP105の臨床的意義. 佐賀感染症懇話会. 2007, 11, 9.
- 3 長澤浩平: 特別講演「SLE(抗リン脂質抗体症候群を含む)の病態と検査」. 第13回九州自己抗体セミナー. 2007, 4, 14.
- 4 長澤浩平: 特別講演「SLEの病態と治療—up to date—」. 第17回千葉膠原病セミナー. 2007, 9, 22.

- 5 長澤浩平：膠原病の最近の治療。佐賀県膠原病友の会。2007, 11, 25.
- 6 長澤浩平, 小荒田秀一, 堀内孝彦, 末松栄一：ワルファリンとスタチンによるステロイド性大腿骨頭壊死の予防研究. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業平成19年度第一回班会議研究成果報告会。2007, 7, 7.
- 7 長澤浩平, 小荒田秀一：自己免疫疾患における自己抗体産生 B 細胞を標的とした治療の開発. 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療事業, 免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療に関する研究。2007, 12, 6.
- 8 多田芳史, 小荒田秀一, 大田明英, 長澤浩平：Toll-like receptor homolog RP105 のコラーゲン関節炎における作用。第27回福岡臨床免疫研究会。2007, 1, 27.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	長澤 浩平	平成19年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	B細胞上のRP105分子の総合解析—自己免疫疾患における機能から創薬まで—	1,200
教授	長澤 浩平	平成19年度厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患克服研究事業	特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目標とした総合研究	900
教授	長澤 浩平	平成19年度厚生労働科学研究費補助金	免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業	免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	2,000
教授	長澤 浩平	平成19年度「民間との共同研究」		自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞上に特異的に発現する分子の同定と当該細胞の自己免疫疾患における役割に関する研究	1,950
教授	長澤 浩平	平成19年度「民間との共同研究」		自己免疫患者由来樹状細胞の膜上に特異的に発現する分子解析	975
助教	小荒田秀一	平成19年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己免疫疾患における自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞を標的とした治療の開発	2,000
助教	小荒田秀一	平成19年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業	自己免疫疾患における末梢血リンパ球および樹状細胞における Toll like receptor の発現の網羅的解析	750